

第6回 伊勢市就学前の子どもの教育・保育に関する検討委員会 会議要旨

日時 平成25年1月21日（月） 14:30～16:30
場所 伊勢市役所 東庁舎4-2会議室
出席者 委員：10名
事務局：健康福祉部長、教育部長ほか

1 挨拶

玉置教育部長から挨拶

2 議事

(1) 提言（案）について

提言（案）について、前回の続きを検討した。その後、全体を最初から見直した。

【委員からの主な意見】

（前回の続き）

IV 4 ①について

- しごうこども園を視察して、短時間利用と長時間利用がうまく機能していると感じた。
- 「教諭・保育士の関わりの難しさが懸念される」とあるが、現場としては問題なく回っているのではないか。
- 認定こども園への移行期の段階では、現場の混乱もあるだろう。
- しごうこども園のように大部分が長時間利用であれば問題が生じないかもしれないが、状況が違えば難しさも出てくるのでは。
- 認定こども園は県内では伊勢市が先行しているが入園状況としては問題を抱えている。私立でも順調な運営ができることを前提に取り組んでいくべきである。

IV 5 ①について

- 保育所と幼稚園では職員の動きも異なり、職員体制上、研究・公開に積極的に取り組めない場合もある。
- 平成19年度に「就学前の子どもの教育・保育連絡協議会」が設置され、順調に進んでいる。
- 公私・幼保が互いに研修の場を共用しあい、互いに理解しながら進めていかなければならない。

IV 5 ②について

- 私立が消極的であるように読める。
- 私立への人的・財政的支援を記述すべきである。（1②へ記述する）

IV 5 ⑥について

○津波等の防災対策に早急に取り組むべきである。築 20 年を経過しても認定こども園化等の計画がなければ改修はしないのか。

→認定こども園化のために改修する、改修時に認定こども園化する、いずれも考えられる。

○具体的な年次計画を策定し、緊急性の高いものから実施していくべきである。

(全体の見直し)

「はじめに」について

○平成 24 年 8 月の「子ども・子育て関連 3 法」の公布についても触れてはどうか。

「現状・課題」について

○これまでの計画で幼稚園 3 園程度、保育所 7 園程度と示してきたことも記述してはどうか。

IV 1 ①について

○「それぞれの地域における」とあるが、他地域からの利用も多いので「それぞれ」を削除してはどうか。

IV 1 ②について

○私立への支援を記述すべき。

IV 2 ④について

○行財政改革の観点から 15 人という規模を再考しなければならない時期も来る。

3 その他

次回は、今回の意見を踏まえて修正した提言案を基に、完成に向けて全体を再度見直すこととする。